

## 第7回(公社)日本食品衛生学会近畿ブロック勉強会開催及び参加者の募集について

日本食品衛生学会近畿ブロックでは、食品衛生の向上と学会の活性化、情報共有を目的として勉強会を開催しております。この度、食品の試験・検査現場の担当者間における情報共有ワークショップを企画するとともに、発表会・講演会の開催も予定しております。多数、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

□ 日時 令和7年(2025年)2月14日(金) 午前の部 9:30～、 午後の部 13:00～  
受付 午前の部 9:00～ 午後の部 12:30～

□ 場所 大阪公立大学 I-site なんば (2F カンファレンスルーム)

□ 内容

午前の部 (9:30～12:00)

○食品の試験・検査現場の担当者間における情報共有ワークショップ

昨年度に続き、日常の食品の試験・検査現場における技術的な不安、技術の継承法、ネットワークづくり、ラボの運用、職員マネージメント、モチベーション維持など分析者共通の課題について、現場担当者が集い、グループ討議を通して情報共有し、解決策を模索します。

午後の部

○一般発表による研究紹介(11月末現在予定) (13:00～15:00 予定)

1) なし飲料を対象とした残留オキシテトラサイクリン試験法の妥当性確認—地方衛生研究所における抗生物質試験法の技術研修—

○平田祥太郎<sup>1)</sup>、秋澤直仁<sup>2)</sup>、荒木浩太<sup>2)</sup>、寺澤宏樹<sup>2)</sup>、山口進康<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>(地独)大阪健康安全基盤研究所、<sup>2)</sup>大阪大学・医学部

2) 内部標準法を用いた残留動物用医薬品分析法の検討と検出事例

安井麻姫 兵庫県立健康科学研究所

3) QuEChERS法を応用したメチル水銀の簡便・迅速な分析法の構築について

○柿本幸子、吉光真人 (地独)大阪健康安全基盤研究所

4) 食牛尿中の2-チオウラシル, 4-チオウラシルおよび6-メチル-2-チオウラシル分析法の確立

畑 寛子 一般財団法人日本食品分析センター

5) 食品添加物公定書における窒素定量法の代替試験法の検証

渡辺実薫 一般財団法人日本食品分析センター

6) 次世代 MALDI-MS 微生物同定技術によるバクテリアの分析—バイオロジーからデータサイエンスの世界へ—

寺本華奈江 株式会社島津製作所

7) 微生物検査の精度管理に向けた取り組み

大西良門 サントリーホールディングス株式会社

○専門の先生による話題提供 (15:15～17:45 予定)

1) 芽胞形成細菌による食中毒の制御に向けた細菌学的研究

大阪公立大学 大学院獣医学研究科教授 三宅真実先生

2) 保健機能食品の適切利用

国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部部長 小堀真珠子先生

3) 問われる、健康食品の品質—有効性の研究成果より—

武庫川女子大学 食物栄養科学部教授 松浦寿喜先生

- 参加者等 食品衛生関係者(近畿地区以外も可能)  
(公務員、民間、学生を問わない。(公社)日本食品衛生学会会員・非会員を問わない)
- 定員 午前の部 先着 70 名、午後の部 200 名程度 予定
- 参加費 無料
- 懇親会 南海なんば駅周辺で18:30 開始予定、会費 5,000 円前後
- 申し込み方法 以下の Microsoft Forms リンクまたは QR コードより受付  
<https://forms.office.com/r/mirNhvFzrw>
- 申し込み締切 令和 7 年 1 月 27 日(月)
- 主催 (公社)日本食品衛生学会近畿ブロック学会活性化委員会及び理事
- 連絡先 摂南大学農学部 平原嘉親 (近畿ブロック長)  
TEL: 072-896-2328 E-mail: yoshichika.hirahara@setsunan.ac.jp
- 会場アクセス 大阪公立大学 I-site なんば  
(大阪メトロ御堂筋線・四つ橋線・千日前線・南海電車 なんば駅 徒歩約 10 分)



以上